

シンポジウム

デジタルツイン時代の 誰一人取り残さない防災

温暖化による豪雨災害はさらに猛威を増し、南海トラフ地震への対策も急務です。防災という言葉の意味は幅広いのですが、発災時に命を失わないことが第一です。本プロジェクトでは避難の高度化を最新技術を用いて実現します。

2023年 **3月25日** (土)
10:00 ~ 12:30

オンライン (Zoom)

参加費 / 無料

◆ 申し込み方法

下記の Google フォーム URL または QR コードより、事前にお申し込みください。

申込URL <https://forms.gle/nf3jrS8rGVCj62Nm7>



なお、定員になり次第、申込フォームは閉じられます。

開催前日までに登録いただいたアドレスへ Zoom の URL を送付させていただきます。

申込 QR コード

◆ 問い合わせ先

研究クラスター長 / 馬場 俊孝

E-mail baba.toshi@tokushima-u.ac.jp

Tel. 088-656-9721



基調講演 講師
奥村 与志弘 氏
関西大学社会安全学部教授

京都大学大学院博士後期課程修了、人と防災未来センター、京都大学助教などを経て、2022年4月から現職。豊富な災害調査や官民連携の取り組みを基礎とした災害事例分析を得意とする。防災研究分野の次世代リーダー。

◆ プログラム

■ 開会挨拶

佐々木 卓也 徳島大学副学長・理事 (研究担当)

■ 基調講演

「南海トラフ巨大地震への備え：これまでの10年とこれからの10年」

奥村 与志弘 関西大学社会安全学部 教授

■ 研究紹介

「避難訓練 XR の開発とインクルーシブ避難への応用」

山中 亮一 徳島大学環境防災研究センター 准教授

「都市地震シミュレーションについて - 概要と可能性、徳島大学における研究開発 -」

中田 成智 徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授

「要介護者避難のための人間支援システムの構築にむけて」

高岩 昌弘 徳島大学大学院社会産業理工学研究部 教授

「近赤外光とテラヘルツ波によるモルタル中の水分と塩分の検出～インフラ構造物の効率的健全度診断の可能性～」

上田 隆雄 徳島大学大学院社会産業理工学研究部 教授

■ 閉会挨拶

武藤 裕則 徳島大学 理工学部長

主催 徳島大学研究クラスター：大規模自然災害からのインクルーシブ避難の実現

後援 徳島大学環境防災研究センター